

本日の会議に付した事件

令和5年第1回山元町議会臨時会

令和5年7月28日（金）午前10時

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
日程第 2 会期の決定
日程第 3 提出議案の説明
日程第 4 議案第24号 令和5年度山元町一般会計補正予算（第2号）

午前10時00分 開 議

議 長（岩佐哲也君）ただいまから令和5年第1回山元町議会臨時会を開会します。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配布のとおりです。

〔議事日程は別添のとおり〕

議 長（岩佐哲也君）日程第1．会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、山元町議会会議規則第124条の規定により、1番伊藤貞悦君、2番品堀栄洋君を指名します。

議 長（岩佐哲也君）日程第2．会期の決定を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、お手元に配布のとおり、本日1日限りにしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議 長（岩佐哲也君）異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日限りに決定しました。

議 長（岩佐哲也君）これから、議長諸報告を行います。

議長諸報告は、お手元に配布のとおりでありますのでご覧いただきたいと思います。

議長諸報告を終わります。

議 長（岩佐哲也君）日程第3．提出議案の説明を求めます。

本臨時会に提出された議案1件を説明願います。

町長橋元伸一君、登壇願います。

町 長（橋元伸一君）皆さん、おはようございます。

本日ここに令和5年第1回山元町議会臨時会が開会され、提出議案をご審議いただくに当たり、議案の概要をご説明申し上げますので、議員各位のご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

議案第24号令和5年度山元町一般会計補正予算（第2号）（案）についてですが、現

在施工中の町道中浜滝の前線道路改良工事において、工事に使用する盛土材を建設発生土から購入土に変更する必要が生じたことから、工事請負費を増額措置するものであります。

以上、令和5年第1回山元町議会臨時会に提出しております議案の概要についてご説明申し上げましたが、細部につきましては、さらに関係課長に説明をさせますので、よろしくご審議の上ご可決を賜りますようお願い申し上げます。

議長（岩佐哲也君）以上で提出議案の説明を終わります。

議長（岩佐哲也君）日程第4．議案第24号を議題とします。

本案について説明を求めます。

企画財政課長（佐山 学君）はい、議長。それでは、議案第24号令和5年度山元町一般会計補正予算（第2号）についてご説明いたします。

初めに、今回の補正の規模でございますが、歳入歳出それぞれ8,200万円を増額し、総額を84億9,211万5,000円とするものでございます。

それでは、歳出予算からご説明いたします。

7ページをお開き願います。

8款土木費2項道路橋りょう費につきまして8,200万円を増額しております。こちらにつきましては、現在施工中の町道中浜滝の前線改良工事で活用を予定していた阿武隈川しゅんせつ土につきまして、砂質度の割合が高く、盛土材としての基準を十分に満たさない土質であることが判明したことから、しゅんせつ土の活用を取りやめ、盛土材に適した土量を別途確保するための経費を計上するものでございます。

次に、歳入予算についてご説明いたします。

6ページをご覧ください。

22款町債1項町債につきまして8,200万円を増額しております。こちらにつきましては、歳出予算でご説明いたしました町道の改良工事に充てる財源でございます。

3ページにお戻り願います。

地方債の補正でございます。

過疎対策事業債の限度額を4億9,650万円に変更するものでございます。

起債の方法、利率や償還の方法につきましては、変更はございません。

以上が補正予算（第2号）の内容となります。よろしくお願い申し上げます。

議長（岩佐哲也君）これから質疑を行います。—— 質疑はありますか。

12番（高橋建夫君）はい、議長。ちょっと2点ほど確認をさせていただきます。

今回の事業は、令和4年、令和5年にまたがる債務負担行為で行っている事業と理解しておりますけれども、今回の補正予算の原因である国交省が行っております阿武隈川の治水プロジェクトですか、それが行っているしゅんせつ土、これが砂が混じっている度合いが多くて、今回の工事には適していないし、工期がずれてしまうからという上程の内容だと思います。

それで、今後関連した町戸花山線も518メートルですか、関係あるわけなんですけれども、今後、その治水プロジェクトからのしゅんせつ土、こういった東部とか何かの整備事業には使えても、道路の改良工事には今後とも期待できないのかどうか、これに

ついてまずは確認をお願いしたいと思います。

建設課長（山本勝也君）はい、議長。今後の部分ですけれども、こちらに関しましては、これから阿武隈川の治水プロジェクトのほうでしゅんせつするその土質を見てみないと、使えるかどうかというのは判断できないかとは思っています。

ただ、一応要望としましては、6年度までの間にということで土の要望はしております。以上になります。

12番（高橋建夫君）はい、議長。私は最初にですね、このしゅんせつ土、国でやる場合に、例えばエックス線とか何かで事前に透視で分かるのかなと実は思っていたんですけれども、実際掘ってみて、土質検査をしてみないと分からないということが分かりました。

それで、要は今後、今課長がおっしゃいましたけれども、やっぱり掘ってみないと使えるか使えないか分からないんですけれども、これからの事業に対して、常に建設課と治水プロジェクトが連携を取って、そして、使えるときは使えるような努力をしていただきたいなということなんですけれども、その辺についてはそういう考えなのかどうか。

建設課長（山本勝也君）はい、議長。ただいまの質問に関しましては、使える土であれば積極的に使いたいと考えております。以上になります。

12番（高橋建夫君）はい、議長。最後にもう1点。財源的な問題ですけれども、これは全て過疎債が適用されると。今後の先ほど言った町戸花山線一連の工事も含めて、そういう理解でよろしいんですか。

企画財政課長（佐山 学君）はい、議長。今般の道路改良の部分に関しては、今説明をさせていただいた過疎対策事業債を活用させていただきたいと考えています。

今後の町戸花山線につきましては、町に有利な財源、これを調査検討しながら財源の確認をしていきたいというふうに考えております。以上です。

12番（高橋建夫君）はい、議長。単なる過疎債の延長だけじゃなくて、もっと有利な国に対する財源もエントリーして考えていくという考えですね。

企画財政課長（佐山 学君）はい、議長。ご質問のとおりでございます。

議長（岩佐哲也君）そのほか質疑はありませんか。

8番（遠藤龍之君）はい、議長。大変ね、今の現在、現執行部、大変苦労されている。金の問題からですね、調達から、という現状なんですけど、これ、この問題を解決していくためにも、有利に進めていくためにも、その取組姿勢というのがね、非常に大事になってくるんじゃないかというふうに考えているところからの疑問なんですけど、何で、そもそもは、そもそもは、金のかからない残土で対応できるはずの事業だった。併せて言うと、もうとっくの昔に出来上がっていなければならない事業であった。それが、どのような理由、経緯でここまで延び延びになってきたのか。その辺を深く分析し、総括し、そのことをもって次に生かす、今後の対応に生かすということになるかと思うんですけど、その際の姿勢としてですね、非常にこれ失敗しているんです。そういう意味ではね、我々も。本来やんなくてなかったものをやってこなかったと。本来その時期にやっていけば、金のかからなかった取組であった。それが今話を聞きますとですね、まずもう8、200万、これは過疎債ですから3割ですが、町持ちはね。今後も過疎債で使うとなれば、新たな金かね、増えていくと。今この物価高騰の中で町民の暮らしをいろいろ見たときに、何千万という金は非常に町独自の対策を取り組んでいく上でも貴重な財源になるかと思えます。というね、そういう貴重な財源を、やるべきことをやってこなかったことによ

って生まれて、発生しているこの財源措置です。ということになるんで、今ね、その過去のことをどうのこうと、だから元に戻せって言うことはできないし、あとこの事業については、まさに一日も早くしなければならぬ事業なんです。併せて言うと、また戻りますが、それを進めていくためにも、やっぱり何でこういうことになったのかということ十分に検証してですね、前に進めていくべきだと思いますが、いかがでしょうか。答えられる人。町長の答弁だな。

町 長（橋元伸一君）はい、議長。今、遠藤議員がおっしゃったとおりですね、この四番作道のかさ上げ道路に関しましては、私の認識であれば、当時、坂元地区に新市街地を造る、高層住宅を造るに当たって、その3線堤として、万が一、同じようなですね、災害が起きたときに、避難をする時間を稼ぐための防御の一つとして造るということで、その事業が進められたというふうに私は認識しております。ですから、今言ったようにですね、とにかく早急に造らなければいけない。ましてやですね、昨年5月にですね、新たな県からのシミュレーションによって、これまでのシミュレーションの1.2倍の広さですね、浸水域も増えたということもありますので、今回はちょっとお金が、確かに町のお金の持ち出しという部分が出てくるんですが、もうできるだけお金をかけずに新たな土が出てくるのを待っているという時期ではもうないのではないかとということで、早急に道路の整備はしなくてはいけないのではないかと判断の下で、今回このような財政的なことをですね、議会のほうにお願いをして、道路を早く完成させたいということでの今回の臨時会をお願いしたわけでございますので、私といたしましてもですね、今後のこれ半分も、できるだけ早めに、早急に進めていければというふうには考えておりますので、その辺をですね、これまでの経緯はいろいろあるとは思いますが、その辺をご理解いただきまして、何とか皆さんの考えをまとめていただければというふうに思います。よろしくお願いたします。

議 長（岩佐哲也君）よろしいですか。ほかに質疑はありませんか。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議 長（岩佐哲也君）質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

議 長（岩佐哲也君）これから討論を行います。—— 討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議 長（岩佐哲也君）討論なしと認めます。

議 長（岩佐哲也君）これから議案第24号令和5年度山元町一般会計補正予算（第2号）を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議 長（岩佐哲也君）異議なしと認めます。

よって、議案第24号は原案のとおり可決されました。

議 長（岩佐哲也君）これで本日の議事日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

令和5年第1回山元町議会臨時会を閉会します。
お疲れさまでした。

午前10時16分 閉 会
